

## ワークショップで出されたまちづくり企画のアイデアはこちら！

### ①歴史を知り・学び 愛着と誇りをもてる まち

#### ●親子で参加できる月寒まちブラ

- ・まち歩きで月寒をめぐり、歴史を伝える
- ・カーリング体験するプログラム
- ・児童、学生、高齢者の3世代があつまる場をつくる
- ・学校の歴史を辿る
- ・身近な細かなことを小学生が調べて発信できる場
- ・ウォーキングルートを書き入れた、歴史地図の作成
- ・地域カレンダー情報
- ・史跡をめぐって宝さがし
- ・スタンプラリー
- ・情報を集めて新聞やHPをつくる
- ・子供たちが自分の地域の写真をHPにアップする
- ・楽しみながらフィールドをめぐる親子イベント
- ・月寒地区のマップを作る

#### ●歴史を外に伝えていく

- ・月寒を知らない人にも好きになってもらうようにPR
- ・軍隊が入ってきたことがまちのはじまりなので、おもしろく伝える
- ・つきさっぶの少年という歌を広めていく

#### ●月寒神社を活用する

#### ●施設を活かしてスポーツのまちに

- ・オリンピックで月寒ドームやカーリング場ができた歴史を伝え、活用
- ・スポーツを楽しむ町に

### ②にぎわいと活気のある まち

#### ●商店街ににぎわいがある

- ・地域（地元）のお店を使って地元が潤う
- ・商店街の情報を発信（店主にフォーカスする）
- ・子ども達の商店街見学
- ・楽しくウォーキングして、運動不足を解消しながらグルメ通にもなる
- ・お母さん同士のつながりを巻き込んで活動へとつなげる

#### ●現在の催事を充実させる

- ・盆踊・ラジオ体操・運動会のスノーフェスティバル・音楽祭・敬老会など
- ・町内会の方と小学生・中学生・高校生と地域のゴミ拾いを行う

### ●月寒ブランドの充実

- ・大学と連携してお店、商品をつくる
- ・月寒を代表する商品をつくる
- ・ポイントが貯まる制度
- ・月寒でとれたものやスイーツを月寒のブランドにする

### ●商店街の場を提供し、学生のアイデアと実行力を活かしてにぎわいをつくる

- ・大学同士の連携
- ・大手流通とのコラボの検討
- ・大学側も町内へ声をかけ、大学生が高齢者と一緒にお祭り参加
- ・学校が地域の住民へ学校祭に招待
- ・多世代が交流できる地域食堂
- ・寺子屋（小学校低学年に勉強を教える）
- ・異世代交流イベント
- ・月寒の地域を使ったゲーム
- ・月寒商店街で子どもたちのお店や、子育て広場などを開催する

## ③子育てしやすい 子どもにやさしい まち

### ●子育て世代や子どもたちの交流

- ・イクメンパパ向けの料理教室
- ・親子交流サロンや移動子育てサロンなど
- ・学生たちなど若者が町内会に参加してくれるような対策
- ・親子ふれあいコンサートのように、みんなに発表できる場

### ●集える施設や企画を設定

- ・子ども達が集まる場所をつくる
- ・子育てカフェで人々が集う
- ・子ども食堂の開催
- ・大学でドッジボール大会の開催
- ・体操やカーリングイベントを計画し町内会とのつながりを
- ・集える場では、図書貸しやチャレンジショップなども開催
- ・クラウドファンディングを活用して資金を集め開設
- ・商店街と連携してカフェ（小さな交流の場）を運営する。

### ●子育て環境を整える

### ●小さな交流の場をつくる

- ・小さな交流の場は、空き家や空き店舗を利用
- ・月寒中央エリアとランチ月寒の間にカフェや飲食店、リモートワークができるオフィス（Wi-Fi完備）などを設ける
- ・大学生のチャレンジショップをつくる（学生の起業・創業支援の場）
- ・学生が地域の人と交流できる拠点

#### ④高齢者にやさしい まち

- 高齢者がとにかく元気なまち
  - ・ 高齢者が参加できる行事（場）を創出
  - ・ 体を鍛える場やサロンなど
  - ・ 3TY 体操をみんなが知っていて、元気な方々が沢山いる
  - ・ 子ども、学生、働き盛り、から高齢者が一緒に月寒音頭を踊っている
  - ・ 公園などで 365 日ラジオ体操
  - ・ 若者が高齢者むけにスマホ講座を行うなどの若者と高齢者の交流
- 子どもや高齢者へのみまもり
  - ・ 子どもの見守りと高齢者の見守りの連携
  - ・ バリアフリーにする
- 地域の施設との連携
  - ・ 月寒神社での活動を行う（歌会や骨董市などの楽しい行事等）
  - ・ 男性の高齢者が活躍できる場
  - ・ 高齢者の地域活動への参加
  - ・ 散歩コースの紹介
  - ・ ベンチをみんなで作る
- 地域で使える月寒ポイント制度
  - ・ 見守りや高齢者と一緒に活動するともらえるポイントをつくる
  - ・ 月寒ポイントを用いて地域食堂で使えるようにする
  - ・ スマホでポイントがもらえる仕組みに

#### ⑤つながる まち

- オンラインにぎわいネットワーク（月寒のデジタル化）
- 月寒のトータルサイト「つきさっぷ」を活用してつながりをつくる
  - ・ 月寒の情報を動画にする
  - ・ 月寒地区全体のマップを作りインターネットや SNS で発信
  - ・ 動画でまちのことを紹介
  - ・ 大学や、高校生に参画してもらって、動画制作
  - ・ 動画制作のプロセスで商店街などを取材してもらう
  - ・ 居住者のニーズに応じた情報やイベント情報などが掲載された月寒全体カレンダーの作成
- コンテンツ集め（アップデートの仕組みが必要）
- コミュニティの場所
  - ・ メインコミュニティの場を月寒駅などにする
  - ・ 空き教室を活用する

○情報発信

- ・マンション、アパート住民にこまめに情報を提供する
- ・お店、バス停、地下鉄に地図（新旧）で情報を伝える
- ・個別に情報提供のチラシを作成する

○歴史やまちの情報が更新される HP

- ・歴史の情報は小学校との連携
- ・学校と町内会で情報や活動の連携を図る
- ・町内のお店の情報を掲載
- ・新しいお店や今あるお店のお知らせなどの情報

○月寒の PR：ラジオ、SNS、口コミ

- ・月寒のまちを PR する情報発信
- ・ラジオをつかって歴史を紹介する（学生が出演）

○電子化・デジタル化を進める

- ・回覧板を LINE にする
- ・町内会の会議は Zoom
- ・町内会費は PayPay での支払い
- ・各世代が興味を持てる情報の発信（スマートフォンで見ることができる）
- ・お年寄りも子どもも、みんなが情報を入手しやすくする
- ・高齢者には広報など紙媒体と一緒に配布
- ・つきさっぶ新聞の作成
- ・Facebook やインスタでの情報発信の強化

○学生と連携して月寒地区の魅力を発信

- ・町連や商店街の SNS を開設して、学生に「月寒の魅力」を発信してもらう。
- ・学生視点で魅力を発信することで、月寒地区に新しく転入してきた方や若い世代に届く情報に
- ・学生が地域の歴史や魅力を発掘して発信・受信

○地域の仕事・アルバイト情報を発信する

- ・地域の団体が地元の仕事・アルバイト情報を発信し、学生や若い世代が月寒地区で暮らすきっかけをつくる